

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
皮膚T細胞リンパ腫 デニロイキン ジフチトクス療法		21日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
d1-5	カロナール錠500mg 1錠 Rp.1開始と同時に内服 ① グラニセトロン1mgバッグ+ポララミン5mg+デキサート3.3mg 点滴開始と同時にカロナール錠500mg 1錠内服 ② 生理食塩水250mL ③ 生理食塩水100mL+レミトロ 9 μ g/kg 注射用水2.1mL/Vで溶解 溶解後の濃度は150 μ g/mL 希釈後の濃度は3 μ g/mL以上となるようにすること 投与時にはインラインフィルターは使用しないこと ④ 生理食塩水250mL		
コメント	Rp.1点滴開始と同時にカロナール錠500mg 1錠内服。最大8サイクルまで。		

プロトコールに関する解説

本療法は、再発性または難治性の皮膚T細胞性リンパ腫(CTCL)の治療において、効果が示されている治療法です。臨床試験により、本療法は偽薬(プラセボ)群に比べ、優れた治療成績を示しており、再発性または難治性のCTCLの治療において新しい選択肢の一つとして認識されております。重篤副作用の発症率はやや本治療で多いのですが、軽度の副作用の発症率はプラセボと同等です。重篤な副作用に関しては注意深く観察する必要があります。